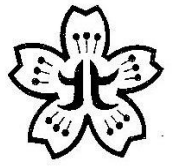


北小
学校
だより

やま桜

学校教育目標 自分よさが輝き、自立する子ども

平成29年11月10日
南足柄市立北足柄小学校
第17号
校長 木村 元彦



富士山も雪化粧となり、晩秋から初冬の気配になってきました。紅葉も日に日に色づいていっている様子が周りの山並みから感じられます。全校で育てているぎる菊も満開になりました。この時期は、七五三のお宮参りに参拝されるご家庭もあるのではないのでしょうか。七五三は7歳5歳3歳の子どもの成長を祝う日本の年中行事ですが、江戸時代に3歳男女の髪置き（髪を伸ばし始める）5歳男児の袴着（初めて袴を着ける）7歳女児の紐【ひも】落とし（着物を留める紐を帯【おび】に替える）儀式が江戸中期に呉服屋が商売をするうえで3つをまとめて行われたのが七五三の始まりとされています。明治以降庶民に広がり、乳幼児の死亡率が高かった昔は、無事に成長する子どもは幸運だとされ、「7歳までは神のうち」と幼い子は神が運命を決めると言われていました。そこで人々は、不安定な時期を乗り越えた節目節目に、子どもの無事な成長を祈る儀式を行ったのではないのでしょうか。時代は変わっても今も、子どもの健やかな成長を願う気持ちは変わりません。

職員玄関前のぎる菊



内山剣舞踊り市民文化祭で披露



11月の子どもたちの活躍のようすや学校の取り組みをお知らせします。

5日に市文化会館大ホールで市民文化祭が開催され、10月から内山剣舞踊り保存会（矢

後昇坪会長）の皆さんに市の無形民俗文化財に指定されている郷土芸能である内山剣舞踊りを基本的な動作から熱心にご指導いただきました。その成果を出して4年生5年生全員で立派に踊りました。この内山剣舞踊りは、本校の総合的な学習の時間を活用して20年以上前から行われている地域と連携した郷土学習です。これからもこの伝統は下級生に引き継がれていきます。



よりよい授業づくり
をめざして
先生もがんばっています

1日に1年生担任沼田総括教諭の「道徳」の時間の研究授業が行われました。来年度から「特別の教科 道徳」として教科となります。授業から学ぶとこ



授業終了後に行われた研究協議

ろは何か、授業の課題はどこか、その課題を解決するためにはどうしたらよいかなどこれからの道徳の授業の指導方法について先生たち全員が集まり授業後に協議をしました。すべての先生が年2回このような授業研究会を行いよい授業づくりを研究して、授業に活かしています。

一人一鉢運動

8日朝の時間に健康環境委員会で「チューリップを植えて花いっぱいの学校にしよう」をめあてに中央通路に全校児童が集まり、シャベルを使って鉢に培養土を入れてチューリップの球根を一人ひとり植えました。

植えたチューリップは、春になり入学式の頃新一年生をきれいな花を咲かせて迎えてくれることでしょう。それまで、一人ひとりが自分のチューリップを管理し花が咲くまで水をやり責任をもって育てていきます。



矢倉沢

1・2年生 ざる菊まつり見学

4日から開催されている矢倉沢ざる菊まつりに5日1・2年生が見学に行きました。

今年も矢倉沢ざる菊祭り実行委員会の植田勇次さんが案内をしてくださいました。加藤恵三さんのお宅でお団子を一人ひとりもらい、ざる菊会場の上ノ山菊園休憩所でおいしく頂きました。歩いていると2年生から「校長先生いい景色だねえ。」と声がかかりました。矢倉沢の自然を満喫し、ざる菊畑を走り回り、向日葵の迷路で遊びました。

年々盛大になるざる菊まつりですが、各会場の色とりどりのざる菊が満開で素晴らしい光景でした。1・2年生の子どもたち12人も地域の方々の温かさに触れ、地域の秋の行事を見て郷土のよさを実感した一日でした。



三人一鉢運動で育てたざる菊が満開になりました。瀬戸雄三さん(内山在住)のご協力で十月から全校児童が毎日欠かさず交代で水遣りを行っていた正門から玄関に並べられたざる菊が満開になりました。先日、育てたざる菊を囲んで三人グループで記念写真を撮りました。今年度から始めた活動ですが、これからも郷土を愛する活動としてつなげていければと考えています。

植え替えが終わりバスロータリーに並べられたプランター



六年生が内山福祉会の皆さんとバスロータリーの花の植え替え八日、春に植えた内山バスロータリーのプランターの花を冬の草花に植え替えをしました。一年を通じて、バス停は、草花のプランターに囲まれ、こみ一つなくきれいに整備されています。本校では、バス通学の児童がいますので、バスロータリーは、今や学校の一部になっています。